

十六日午前六時頃二番方の労働者約六十名程が入坑せんとして人車を待ち合はせ中突然二十八歳前後の男が群衆の前に現はれ磐城炭礦會社の労働者待遇問題労働者をして罷業せしむるが如き屋外演説をなしたので會社側下は過般同礦小野田炭礦で飯塙頭山代吉宗氏を解雇した事から下紛擾を醸してゐる事情に鑑み或は同盟罷業でも起されるのではないかと急を平署に告げたので平署からは直ちに樺村署長、伊藤高等係長、渡邊、樋口兩高等特務等現場に出張し労働者が不穏の態度に出するを警戒するが、今朝の労働者六十名は全部演説者を坑外に残しこまゝ入坑した、會社では今の處何等變つた事がないと言つてゐるが附近の坑夫組合支部員は盛んに同盟罷業を劃策してゐるといふから或は争議が起るかも知れず平署では引き続き警戒中である。

同業罷業を劃策

明治電業を劃策

き緣故關係もあるのでかたぐ
坑夫組合員中にも總同盟に復讐
する者少なからず次第に勢力増
増して來た形勢あり近く入山山
礦を中心具体化すべく二萬の
労働者を擁してゐる常磐炭礦の

積立金を加算し一割二分で
と。
塙屋の
福引賣出一
平町土橋塙屋山崎合名會社

大字大堀生れ大森茂(二七)は平
町に流れ込むまで方々で婦女子
を籠絡し情を通じ平町に来てか
らも活動見物中の女學生、交換
手、未亡人、令嬢等を甘言でた
らし込み自分の下宿屋或は料理

福引當籤者

五十三票	木 錦
五十一票	雄氏
五十票	關 内
四十七票	正 一氏
四十二票	吉 田
三十五票	寅之輔氏
三十一票	櫻 井
上 貞次郎氏	吉 村 安次郎氏
井 上 貞次郎氏	清氏

廿夕六日刊 実業時報

福島縣石城郡平町結屋町十四
福島縣石城郡平町結屋町十四
印 刷 所 加 沢 活 版 所
福島縣石城郡平町結屋町十四
行 使 所 質 問 時 報 社
一部金或錢一ヶ月並參拾錢
廣告料一行十四四字話金五十錢
△日刊(日曆、祭日)休刊

定せねば、卒業証書の白紙も出来ないと困り切つてゐる。

色魔大森茂送護で罪姦強十一歳の少女観客を暴んで連れ込んで樂屋に

平模擬市會
市會議員得票
一四二票
綠川喜三郎氏
八十二票 馬目雅治氏
六十七票 高橋 亀松氏

助一萬五百圓の申請に對しこれ程四千六百六十二圓の許可旨があつたので本年度豫算更正その他數件の議案を附議する筈。

線して

死の重傷

古港内地内で

岸軌道の椿事

三日の賣出し當日に行はしの
てゐる他町の商店より割がよく
全体で賣上げの一割七分の豫想
で三圓買上げの抽籤には一等反
物(三圓以外)以下五等まで一圓
買上げの方は一等醤油瓶詰一本
以下三等まで何れも空籤なく今
から前人氣を博してゐる。

貧弱町村の子女は
概して成績が悪い
磐高女櫻井校長談

石城郡内一部の町村では小学校教員の俸給支拂に就て常に一二ヶ月より甚だしきに至つては遅延數ヶ月に涉るもの無きに非ず殊に郡役所廢止後に在つては從來縣と町村との間に介在し直近の監督機關たりし郡視學等がなくなりた爲め一層この傾向甚だしきものゝ如くであるが、この結果教員

は生計上已むなく米鹽其他の日常生活等を最寄商店より若干期間借受ける事となるので常にお價以上の相場に賣りつけられるは未だしも之がため常にお價以上の相場に賣りつけられると不思議の生計を續くるを余儀なくされ而も日常心の安住を得ざる結果兒童愛護上の缺點を抱いてゐる。日立町築町活動常設築館に大森立鑛山製練夫森鐵彌姪靜子(十
二假名)を欺いて樂屋に連れ込み暴行を加へた事最近助川署が探知し強姦罪として一件書類と共に二十五日水戸地方檢事局に譲送したといふが、益々驚いた

娘妓が外出
平町鎌田町遊廓住吉樓方抱娘妓
小蝶事若生むめ(二〇)同千歳事
庄藤はる(二十五)外一名は去る二
月馴染客に連れられ無断外出し
上小川村片石田地内發電所工事
場を見物中平署員に發見され告
警された。

十八票	山崎 清三氏
十七票	山崎 德次郎氏
十六票	大森 真木 桓氏
十五票	草野 順平氏
十四票	山野邊東次郎氏
十三票	柴田 德二氏
十二票	千葉 彥治氏
十一票	諸橋 元三郎氏
九票	萩原 義雄氏
八票	横山 顯庭
六票	諸橋 盤麿氏
五票	高倉 精一氏
五票	瀧澤 俊平氏
三票	中野 正次氏
三票	阿部政右工門氏
一票	鈴木 雄氏
一票	長瀬 延太郎氏
一票	佐藤 武之氏
一票	吉田 喜代治氏
一票	多田井笑次郎氏
一票	關内喜久次郎氏
一票	市原 守馬氏

軌道車通行脱線して
三名頻死の重傷

小名瀬古港内地内て
警城毎岸軌道の春事

賓羽田村の子供は
概して成績が悪
磐高女櫻井校

善に腐心してゐるが、右
さき櫻井高女校長は、
「そうした學校から來た生
徒はどうも成績がおもはし
い様である、日常米鹽の

愈々多事

頭山代吉宗氏を中心とした極左系助一萬五百圓の申請に對しこれに屬する労働團體が組織される模様あり又一方に於て社會民衆は自らの勞働の爲めに組織される程四千六百六十二圓の許可旨が下りたので本年度豫算更正その他數件の議案を附議する筈。小名濱古港地内地内に於ける軌道車逆行脱線して三名頻死の重傷の椿事は磐城海岸軌道の椿事である。

廿五日午後二時半頃小名濱町海をくつて田圃中にはうり出され岸軌道會社のガソリン自動車が顔面その他に何れも全治三週間客車一輛に砂利を滿載した貨車以上に童傷を負ひ同町中村醫院に運搬され一輛を連結同町古港地内を進行にかつき込み加療中である。

中三十度の上り勾配にて貨車の中三十度の上り勾配にて貨車の重みでひきこれず連結機が切斷され貨車は逆行脱線しその際客車は滿員のため貨車の砂利の上に乘る。磐城中學校長の椅子は滑川一郎氏の逝去後一ヶ月餘りとなつてゐた石城郡江名町字南町馬目熊五郎(四二)同町字中の作吉田茂三郎(五一)小名濱町字古港小野りよ(二七)の三名ははづみでは何れにもせよ早く後任が決

三日の賣出し當日に行はしの
てゐる他町の商店より割がよく
全体で賣上げの一割七分の豫想
で三圓買上げの抽籤には一等反
物(三圓以外)以下五等まで一圓
買上げの方は一等醤油瓶詰一本
以下三等まで何れも空籤なく今
から前人氣を博してゐる。

貧弱町村の子女は
概して成績が悪い
磐高女櫻井校長談

石城郡内一部の町村では小学校教員の俸給支拂に就て常に一二ヶ月より甚だしきに至つては遅延數ヶ月に涉るもの無きに非ず殊に郡役所廢止後に在つては從來縣と町村との間に介在し直近の監督機關たりし郡視學等がなくなりた爲め一層この傾向甚だしきものゝ如くであるが、この結果教員

は生計上已むなく米鹽其他の日常生活等を最寄商店より若干期間借受ける事となるので常にお價以上の相場に賣りつけられるは未だしも之がため常にお價以上の相場に賣りつけられると不思議の生計を續くるを余儀なくされ而も日常心の安住を得ざる結果兒童愛護上の缺點を抱いてゐる。日立町築町活動常設築館に大森立鑛山製練夫森鐵彌姪靜子(十
二假名)を欺いて樂屋に連れ込み暴行を加へた事最近助川署が探知し強姦罪として一件書類と共に二十五日水戸地方檢事局に譲送したといふが、益々驚いた

娘妓が外出
平町鎌田町遊廓住吉樓方抱娘妓
小蝶事若生むめ(二〇)同千歳事
庄藤はる(二十五)外一名は去る二
月馴染客に連れられ無断外出し
上小川村片石田地内發電所工事
場を見物中平署員に發見され告
警された。

十八票	山崎 清三氏
十七票	山崎 德次郎氏
十六票	大森 真木 桓氏
十五票	草野 順平氏
十四票	山野邊東次郎氏
十三票	柴田 德二氏
十二票	千葉 彥治氏
十一票	諸橋 元三郎氏
九票	萩原 義雄氏
八票	横山 顯次氏
六票	諸橋 盤麿氏
五票	高倉 精一氏
五票	瀧澤 俊平氏
三票	中野 正次氏
三票	阿部政右工門氏
一票	鈴木 雄氏
一票	長瀬 延太郎氏
一票	佐藤 武之氏
一票	吉田 喜代治氏
一票	多田井笑次郎氏
一票	關内喜久次郎氏
一票	市原 守馬氏

